

第 252 回狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 平成 25 年 4 月 16 日（火）午前 9 時 00 分～午前 9 時 08 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 高橋市長
副本部長 有馬教育長
本部員 石森企画財政部長
本部員 小川総務部長
本部員 水野市民生活部長
本部員 平林福祉保健部長
本部員 松坂児童青少年部長
本部員 松本建設環境部長
本部員 小林議会事務局長
本部員 小泉教育部長
事務局 小川政策室長
富田政策室企画法制担当主査
森政策室企画法制担当
- 4 欠席者 な し
- 5 議 題 1. 狛江市実行プランについて
2. その他
- 6 会議概要

本部長 これより、第252回狛江市行財政改革推進本部会議を開催する。議題1「狛江市実行プランについて」事務局より説明をお願いする。

事務局 昨年度策定された狛江市後期基本計画では、数ある行政課題に効率的に対応していくため、市の主要課題に対応するものとして6つの重点プロジェクトを設定したところだが、今回策定する実行プランは、この重点プロジェクトのうち、行財政改革推進プロジェクトを除く5つのプロジェクトについて、施策の推進のために取り組む具体的な取組みを事業計画として定めるものである。

計画期間は3年間とし、毎年度ローリングを行っていくとともに、ローリングを行う度に計画期間を1年間延伸していくことを考えている。

なお、行財政改革推進プロジェクトについては、第5次行財政改革大綱として位置づけられることから、具体的な取組みの計画は行財政改革推進計画にて定めることとする。

それではまず、実行プランの策定・ローリングについて体制のポイント、スケジュールを説明させていただく。

体制のポイントの1点目として、重点プロジェクトは市全体で推進していくとの考えのもと、プランの策定、ローリング等は、行財政改革推進本部にて検討等することとし、中間期の進捗状況や予算編成状況等についても庁内で情報共有を図ることとする。

2点目として、施策をより効率的に推進できるよう、プランのローリングについては中間期に行うこととし、前年度の実績に対する内部評価の結果に加えて、上半期の進捗状況を踏まえた形で行い、予算編成と並行して行っていくこととする。

最後に3点目として、プランの内容と予算の整合性を図るため、年度末に予算案

が確定した段階で、ローリングした内容との調整を図ることとする。

続いて年間のスケジュールを説明させていただく。

本年度に関しては、初の策定となることから、今回の行革本部の後、各課にて翌々年度までの計画を実行プラン策定シートに記入していただき、事務局にて行革本部への報告・各課との調整を経て実行プラン（案）を作成し、改めて行革本部における審議の後策定をいたしたいと考えている。

また、本年度も含めた毎年度行うローリングから新たなプランの策定までの流れとしては、まず、決算が固まる6月を目途に前年度の取組みに対する内部評価を実施し、行革本部へ報告する。次に、中間期の9月頃に上半期の進捗状況を把握し、こちらについても行革本部への報告の後、内部評価の結果及び上半期の進捗状況を踏まえ、予算編成作業とあわせて各課に翌3年度分の事業計画として実行プラン見直しシートの作成をお願いする。そして、政策調整会議、予算案の確定の段階で行革本部に実行プランにおける予算編成状況を報告した後、翌々年度の取組みについて予算案との調整を経て、実行プラン（案）を作成し、行革本部における審議の後策定したいと考えている。

なお、行政評価との関連についてだが、本年度の内部評価については、中間期のローリングや予算編成においては、重点プロジェクトに関連のある取組みの状況や、施策に関する課題抽出等の一定の評価が必要と考えている。制度設計については、評価の方法等一定の整理ができ次第、改めてご審議願いたい。

また、外部評価につきましては、今年一年間は施策に対する評価は行わず、外部評価のあり方について議論することとなっており、外部評価委員会の中で毎年度のローリングに反映できるような体制を検討していきたいと考えている。

続いて残りの資料の説明をさせていただく。

資料2は、中間期に各課に作成を依頼させていただき実行プラン見直しシートとなり、内部評価・進捗状況を踏まえたうえで翌3年度分の事業展開を記載していただく形になっている。なお、プランの当初策定のために、これから各課に依頼させていただくものとしては、翌々年度における事業展開を記載していただく実行プラン策定シートを考えている。

資料3は、重点プロジェクトに係る指標に関する目標を設定するためのシートとなり、ここで設定する目標は、数値に限らず、目標とする取組み段階を設定することも考えている。

資料4は、後期基本計画における個別施策に係る指標に関する目標設定シートとなり、今回の実行プランとは直接の関連はないが、個別施策の内部評価を行うにあたり設定するものである。

資料5は、重点プロジェクトに係る事業のうち、予算計上された事業の一覧である。ただし、これら以外にも水道局用地関連の取組みなど、予算計上されていない事業などもあり、これらについても実行プランにて管理していく必要がある。

説明は以上である。

本部長 何か意見等はあるか。

本部員 今年度の外部評価委員会では施策の評価を行わないとのことだが、施策レポートの作成も行わないのか。

事務局 外部評価のあり方を議論する予定となっており、行政評価としては内部評価のみとすることを考えている。

本部員 教育振興基本計画実施計画については、実行プランとの整合性を図る必要があると思う。

本部員 一定の整理はしていく必要があると考える。

本部長 整理は必要である。調整を図るように。

本部長 その他何か意見等はあるか。

(な し)

本部長 次に、議題2「その他」について、事務局よりなにか報告はあるか。

(な し)

本部長 なければ、第252回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。